

植物の根域土壌を集中改良!

グランド・マネジメント・ピート

新発売

タキイオリジナル

# キープウェット キープエア

KLASMANN DEILMANN

Regional Manager Japan 小林 輝紀

作物栽培における土壌改良とは「地力を向上させること」です。その「地力」とは、総合的な土地の安定生産力を示します。しかし、昨今は局地的豪雨や干ばつ、極端な高低温、長期曇天などの激しい気象変動と、連作を含む土壌障害が多発し、不安定な生産性が大きな問題となり、これまで以上に健全な根群の発達促進が重要になります。ここでは、特に生育初期(定植)活着からの「根域」に焦点を合わせ、土壌改良専用ピートを用いた根域環境の集中改良をご提案します。

## 根域環境の集中改良

「根」は植物の生長に欠かせません。この根が、播種や定植直後からいかに健全な発達をして土壌に活着できるかが、その後の生育に大きく影響します。植物に最適な土壌の実現は、とりわけ初期生育に必要な根域環境の集中改良を行うことで、根と地上部の均整を促し、極端な気象変化や塩基のアンバランス、土壌病害や連作障害など、多くの生育阻害要因の低減に直結します。

## グランド・マネジメント・ピートとは

あらゆる植物に対応する土壌改良専用ピート(腐植炭化物)です。

この製品は、世界で最も厳格な培地に関する第三者検査機関「R. H. P」に合格した世界最高品質のヨーロッパ

産ピートのみを使用し、高い安全性と安定性を誇ります。基本設計を、  
 ・酸性度を6・0前後に調整。  
 ・肥料(N・P・K)は無添加。  
 ・水分率55%程度を含有。  
 としています。

## 目指す土壌性能と一致する高品質ピートの特性

厳選された高品質ピートは、地球上のあらゆる有機物の中で、類いまれな、高く低い特性を示します。

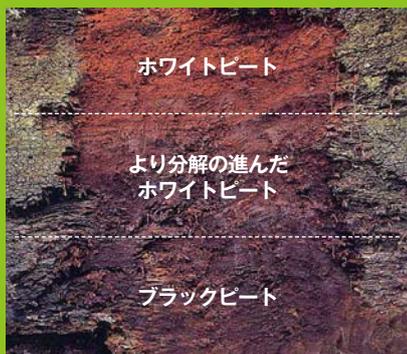
これらは目指す土壌性能(物理性・化学性・生物性)と一致します。

- ・高い物理性(気相を維持しつつ保水力、保肥力が高い)。
- ・高い均一性と安定性。
- ・高い陽イオン交換容量(CEC)による大きな緩衝能。
- ・高い炭素率をもつが、チッソ固定(飢餓)を起こしにくい。
- ・高い腐植酸含有率。
- ・高い生物性(豊富な腐生性微生物を含有)。
- ・低い含有栄養素。
- ・低く安定した酸度(人為的な酸度調整が可能)。
- ・夾雑種子の混入が極めて少ない。
- ・植物の病原になるセンチュウや菌を含まない。

## 「引き算」ができていくか

よい土壌とは、長期間にわたり、養

## 高品質なピートの積層



ピートは、非常に長い時間をかけ、腐植化の過程を経た天然の腐植炭化物です。

土壌改良用に適するのは、大きな細胞組織をもつ水苔が厚く堆積して地上に隆起した清廉なピートモス(ピート化した水苔)です。

腐植炭化の度合いに沿って上部から、ホワイトピート、より分解の進んだホワイトピート、ブラックピートと層状になっており、それぞれの性格が大きく異なります。

グランド・マネジメント・ピートは、その性格差を十分に生かして調合し、製品化しています。



↑ヨーロッパの広大なピートの採取場。

分供給能力と機能的能力にすぐれていることです。

一方、よい土壌改良とは、いつでも容易に足し算(施肥や灌水)ができる安定した状態にすることです。すなわち「いかに土壌から引き算ができていくか」が大切なポイントです。

グラウンド・マネジメント・ピートは、先に述べた特性によって従来の複雑な土づくりを単純化し、トータルコストダウンに貢献します。

### 土壌の状態からピートのタイプを選択

グラウンド・マネジメント・ピートには現地の土壌・環境・栽培条件・求める効果などに合わせて2つのタイプがあり、開封してから加水攪拌することなく、すぐに使用することができます。

#### キープエア

若い分解層の粒度0～70mmを用いて保水性と保肥性を維持しながらも、高い気相率を示します。排水性が低めで、酸素欠乏になりやすい緻密な土質や、酸素要求量の高い作物など、特に土壌の気相バランスを優先して改善させた場合に向いています。

#### キープウェット

より分解の進んだ層の粒度0～25mmを用いて、高い保水性と保肥性をもちます。

排水性が高く、水分や肥料養分が流



キープウェットのイメージ

キープエアのイメージ

亡しやすい土質や、高畝栽培などで土壌水分が不安定になりやすい圃場、低CECの土壌などの改善に向きます。

### 施用方法・目安

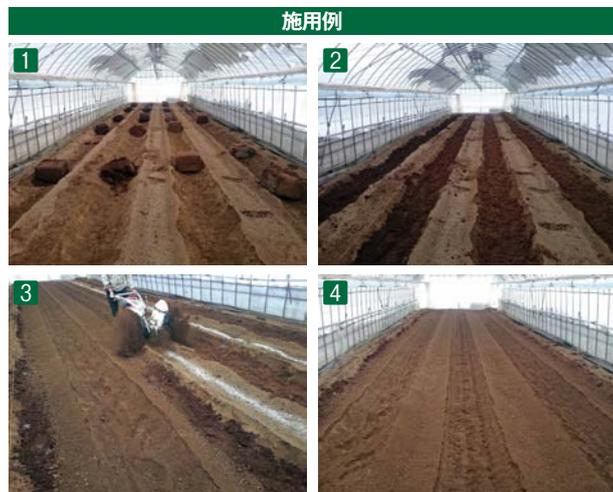
#### ●果菜類など

畝内に施用します。定植後、根が伸びようとする活着領域に局所施用(畝内部にピート層を作る)、もしくは作土と中層混和します。

例えば、畝の20cm幅に厚さ5cm相当を施用する場合、1㎡当たり10ℓととなります。

#### ●軟弱野菜・ネギ・切り花全般

畝全体への中層混和が基本になります。ピートを破壊し過ぎないように適度に混和することが大切です。例えば、厚さ5cm相当分を作土層に混和する場合、1㎡当たり20ℓとなります。



地下水位の低い砂壤土の畝中心部にピートをはさみ込み、保水・保肥力を向上させる。

項目	粒度 (mm)	保水性 (%)	気相性 (%)	保肥性	pH	水分 (%)	微量元素
キープウェット	0～25	◎ 75～80	○ 10～15	◎	6.0前後	約55	添加
キープエア	0～70	○ 55～65	◎ 25～35	○	6.0前後	約55	添加

お問い合わせ先 タキイ種苗株式会社 資材部  
TEL(075)365-0123(大代表)



長野県 アスパラガス



長野県 カラーピーマン



高知県 ナス



高知県 トマト

↑ハウス連作における土耕・隔離土耕栽培で作土にピートを混和。無肥料のピートに吸収根が旺盛に伸長。

#### 【取り扱い注意事項】

- 1.ピートは鮮度が大切です。入手後は早めにご使用ください。
- 2.開封したものは使い切り、覆土してください。ピートが乾燥しないよう注意してください。
- 3.直射日光を避け、雨などの影響を受けない風通しのよい場所に保管してください。
- 4.ピートの原体植物は主に水苔ですが、ピート化した樹木片などが入っている場合があります。
- 5.開封時、真菌の菌糸体(白いカビのようなもの)がみられることもありますが、腐生性ですので作物への影響はありません(菌糸体は空気に触れると崩壊します)。